

関節モビリゼーション施術
臨床報告 6月度
【腰仙関節・仙腸関節】

結果例: 著効◎、有効○、やや有効△、
無効▲、悪化×

年齢・名前	6月	施術関節	効果	施術詳細
83 N.S	6	腰 仙腸 膝 足	○3→1	右肩関節の可動域制限。通常の施術に合わせて腰仙関節の施術を行ったため効果かは不明だが可動域は大幅に改善。
	13	腰・仙腸	○5→1	静止時、動作時間問わず右肩腕痛があり。可動制限も強い。施術後、静止時は違和感がやや残るレベル、可動域は外転で30°程度の向上が見られた。
	20	腰・仙腸・ 脊柱	○5→1	2, 3日前より前回施術前と同様の状態との事。まず腰・仙腸モビを行い、一定の疼痛緩和と可動域確保はできたが不十分なため、今回臨時に該当箇所の脊柱モビを行い、著効となる
	27	腰・仙腸・ 脊柱	○3→0.5	前回施術から症状は落ち着いているとのこと。右肩の動作痛と可動制限があり。施術後、改善が見られたことに加え脊柱伸展も確認できた。
86 T.M	6	腰・仙腸・ 膝・股・足	○	これまでの施術で姿勢改善・膝関節痛緩和がなされているが、立位姿勢がやや前傾。立位における股関節伸展が見られ、姿勢が良くなる。本人も少し自覚。
	9	〃	○	前日の左膝関節の痛みは無いが、若干の違和感が残る状態。施術前が既に良い状態であり、施術後もそのままの状態。
	13	〃	○	前日の左膝関節内側の痛みが違和感となり残存している。施術後、その違和感は解消し、立位姿勢も体幹伸展がごく自然に可能となる。
	16	腰・仙腸・ 膝・足	○	今回は股関節モビを除いて施術した。結果、下肢伸展・脊柱伸展の結果は良好で、当該患者については仙腸・腰仙関節の方が姿勢の影響が大きいと予想できる結果となる。
	23	腰・仙腸・ 股	○	前回とは反対に股関節モビを加えて施術。目視での比較では、骨盤の位置、胸椎の角度を考えると股関節モビを加えた方がやはり良好な結果と思われる。
	27	腰・仙腸・ 膝・股・足	○	施術を重ねるに従い、施術後の患者さんの動作が素早くまた、良い姿勢になっていることが感じられます。

73T・T	6			休み
	13	腰・仙腸・股	△3.5→2.5	右腰部から大腿外側部に鈍痛。二度の脊柱管狭窄症手術があるので施術は慎重に行う。施術後、体幹の伸展と疼痛の軽減は自覚される。疲れがたまると前傾姿勢となる。
	20	股	△3→2	右大腿外内側に痺れと疼痛がある状態。前回の施術で腰・仙腸のモビ施術で脊柱管狭窄症手術箇所付近が痛むという事で今回は股関節モビに限定。施術後は下肢屈伸運動、股割りなどが可能となり一定の結果がでた。
	27	腰・仙腸	○3→2	右大腿外側、腰部に疼痛・痺れあり。施術後、四股の様な動作が可能となる。股関節モビは痛みが出易いため今回は行わず。
86 Y.E	6	腰・仙腸・膝・股・足	○	右股関節外転制限。膝関節伸展(パーキンソン病)。立ち上がり時の伸展がかなり良くなり姿勢も改善
	13	腰 仙腸 膝 足	○	同上に加えやや振戦が強くなり施術難易度上がる。施術後は立ち上がり運動でのスムーズさや伸展状態は確実に改善。
	20	腰 仙腸 膝 足	▲	パーキンソン病特有の下肢震戦が特に強く施術自体に困難さが生じた。筋緊張も強く不随意であるため施術の内容は制限された。
	27	腰・仙腸	▲	今回もパーキンソン病による下肢の震戦が強くて、施術が難しい状態。しかし、腰・仙腸のモビを行うと立ち上がり運動での下肢伸展に良い影響があるように思います。
88 Y.S	7	腰・股・仙腸・足	△	右股関節違和感と臀部全体の痺れ感。立位姿勢が伸展改善。右股関節違和感と臀部痺れ感は半減。
	14	腰・仙腸・股	○3→0.5	立位にて右股関節と両下肢外側に違和感(軽い痺れ)があり。腰仙関節モビの後一度確認し自覚症状半減。仙腸・股関節モビ+マッサージの後では更に半減した。
	21	腰・仙腸・股	○	前回の開始時より症状は軽い様子。施術後、地面がしっかりと掴める感じとの感想を得た。
	28	腰・股・仙腸・足	○	施術後、臀部全体の痺れ軽減と頸部から腰部に渡る脊柱のラインが顕著に改善したと思います。

90 N.H	8	腰・仙腸・膝・股・足	△	元々股関節は自覚無し。伸展での可動域制限あり。施術後、施術自体が気持ち良いと反応。他覚的には他動運動で引っ掛かり半減の手応え、膝関節の伸展改善。
	15	腰・仙腸・膝・足	○	臥位での体幹回旋で左側に硬さが見られた。2日前左膝関節を転倒時に負傷したため、下肢の施術は少し抑えました。施術後、体幹回旋は滑らかさ改善。立ち上がり時に動作の軽さを自覚しました。
	22	腰・仙腸・膝・足	○	施術後、左体幹回旋が右側と同等になり、膝関節の伸展改善も見られた。立位になったときスッキリしたとの感想を得た。
	29	腰 仙腸 膝 足	△	施術後の体幹回旋と膝関節の伸展は見られたが、自覚は得られなかった。
80 A.T	9	腰・仙腸・股	△3→2	仰臥位で体幹の左回旋に制限と違和感あり。施術後、他覚的に回旋がスムーズになるが自覚無し。立位の安定性は見られた。
	16			休み
	23	腰・仙腸・股	○2→1	仰臥位で体幹の左回旋に制限ありだが自覚は無し。施術後、他覚的に回旋がスムーズになる。股関節と腰のモビを合わせて行うと腰部筋群の弛緩が感じられた。
	30			休み
90 H.S	9	腰・仙腸・股	△3→2	ご本人に腰部臀部に痛みや違和感などは無いですが、施術途中で腰部筋群の緊張緩和が感じられました。前回生じていた左大腿内側の尖痛は再発していないとの事。
	16	腰・仙腸・股	△3→2	体幹回旋で右臀部に張り感を感じる。施術後、ほぼ張りは解消、腰部筋の緊張緩和が感じられた。
	23	腰・仙腸	○3.5→1	前日の外出での長時間の立位で疲労困憊したとの事で、全身的な辛さを訴えられた。仰臥位での体幹右回旋で硬さが見られた。施術後左側と同程度に改善。腰部の緊張緩和が感じられた。
	30	腰・仙腸	△3→1.5	体幹回旋で左側の硬さ、右側の違和感を訴えられた。施術後どちらも軽減が見られたが若干程度が低いように思われました。

仙腸・腰の関節モビリゼーションを組み合わせて行うことが多かったのですが、その効果は腰部周囲だけではなく姿勢・下肢に影響する実感を得ました。また、股関節モビをを加えて施術することではさらに広い波及効果が望めるものと思います。但し、技術的には他の部位より仙骨・腰のモビは最も難易度が高いと考えます。